

# ＜女子＞ 2019 広島県ジュニア大会適用規則

## ★クラス I

跳馬	<p>跳躍:2回(良い方の得点が有効点)                  ◆D得点:3.00p 2.50p(1.00 1.20)                  難度表にない跳躍技について                  ・台上前転 1.50p ・開(閉)脚跳び 1.50p</p> <p>◆E得点:10.00から採点                  演技全体をととしての減点                  ・スピードと迫力 0.5まで                  ・体線の美しさ 0.3まで                  ・正確で安定した着地 0.3まで</p> <p>◇器具:高さ 小学生1.10m</p>
段違い平行棒	<p>◆D得点:最大3.00p</p> <p>&lt;構成要求&gt; ①低棒から高棒または高棒から低棒への移動                  ②水平以上の振り上げ                  ③低棒で2つの技                  ④高棒で2つの技                  ⑤終末技はA以上                  ※CR①②技でなくてもよい ③④は2回目の実施であってもよい ④下り技は含まない</p> <p>&lt;難度点&gt;                  ・どの難度要素もDVを0.1とみて5つまでを数える                  ・逆上がり、前振りから腹支持、フット下りをA(0.10)とし、CRを満たすことができる                  ・変更規則で難度点と認められた技はCRを満たすことができる</p> <p>&lt;組み合わせ点&gt; ・組み合わせ点はない</p> <p>◆E得点:10.00から採点                  演技全体をととしての減点                  ・体線の美しさ 0.5まで                  ・振幅の大きさ 0.3まで                  ・スピードとリズム 0.3まで</p>
平均台	<p>◆D得点:最大3.00p</p> <p>&lt;構成要求&gt; ①180°の開脚(前後/左右)を伴う跳躍技                  ②片足上の180°以上のターン                  ③2つ以上のアクロバット系の技                  ④方向の異なる(前方/側方と後方)アクロバット系の技                  ⑤終末技はA難度以上</p> <p>&lt;難度点&gt;                  ・どの難度要素もDVを0.1とみて5つまでを数える                  ・変更規則で難度点と認められた技はCRを満たすことができる</p> <p>&lt;組み合わせ点&gt; ・組み合わせ点はない</p> <p>◆E得点:10.00から実施と芸術性の減点                  2017年版採点規則に準ずる</p> <p>◇器具:小学生は台の下にセフティーマットを入れても良い</p>
ゆか	<p>◆D得点:3.00p</p> <p>&lt;構成要求&gt; ①180°の前後開脚を伴う跳躍技                  ②片足立ちの360°以上のターン                  ③前方/側方のアクロバット系要素                  ④後方のアクロバット系要素                  ⑤最後のアクロバット系要素はA要素以上</p> <p>&lt;難度点&gt;                  ・どの難度要素もDVを0.1とみて5つまでを数える                  ・変更規則で難度点と認められた技はCRを満たすことができる</p> <p>&lt;組み合わせ点&gt; ・組み合わせ点はない</p> <p>◆E得点:10.00から実施と芸術性の減点                  2017年版採点規則に準ずる</p>

## ★クラス II

日本体操協会2017年版採点規則変更規則 II を適用する。

## ★クラス III

日本体操協会2017年版採点規則変更規則 I を適用する。

備考: 1)大会適用規則以外は日本体操協会2017年版採点規則を適用する。

2)跳馬・段違い平行棒・平均台において、着地用追加マット・セフティーマットのどちらかを使用しなければならない。